

教養科目

4年間を通して学ぶ教養科目は、映画をつくり映画について考えるときに必要な教養を、幅広く身につけるための科目群です。基幹以外の5つの群から興味のあるものを選んで、さまざまな分野についての知識を深めることができます。

履修のポイント

- ・基幹の「ベーシック・スキル」1・2・3と「人間総合研究」は必修科目です。他は選択科目です。
- ・教養科目は、5つの群からそれぞれ1科目、合計10単位以上を修得しなければなりません。
- ・10単位を超えた教養科目（α）と、4単位を超えた専門基礎科目（β）をあわせて38単位以上になるように履修してください。
- ・科目名のローマ数字（Ⅰ・Ⅱ）は順番に履修しなければならない科目、アラビア数字（1～6）は順番に関係なく自由に選択できる科目（必修を除く）です。
- ・指定されている配当年次以外での履修はできません。
- ・茶色の科目は「映画ソムリエ」科目です。履修の際の目安にしてください。

丸数字：単位 *印：4年次も履修可 茶色：「映画ソムリエ」科目

科目群	1年次		2年次		3年次・4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基幹 (必修)	ベーシック・スキル 1 ②			ベーシック・スキル 3 ②		
	ベーシック・スキル 2 ②					
	人間総合研究 ⑧					
映画史	日本映画史 1 ②	日本映画史 1 ②	ドキュメンタリー映画史 ②			
	映画史概論 ②	映画史概論 ②				
		日本映画史 2 ②				
	映画史基礎 ② (2年間かけて修得する科目。1年次は仮登録、2年次に履修登録を行う。)			映画史基礎 ② ※4年のみ(ソムリエ対象外)		
映画文化	映画分析論 ②	テーマ研究 1 ②	映画解釈論 ②	テーマ研究 2 ②	テーマ研究 3 ②	テーマ研究 4 ②
	表象文化論 1 ②	サブ・カルチャー論 ②		表象文化論 2 ②*	フィルム・アーカイヴ ②	テーマ研究 5 ②
					アニメーション・特撮文化論 ②	テーマ研究 6 ②
						日本文化論 ②
文学・芸術	文芸映画論 ②	映画と文学 ②	写真論 ②	映画と演劇 ②*	映画と音楽 ②	映像と美術 ②
		芸能概論 ②	ファッション文化史 ②*	文学 ②	映画と哲学 ②	
			美術史 1 ②	美術史 2 ②	演劇史 ②	
					英米文学 ②	
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会 1 ②	映画で学ぶ歴史と社会 2 ②	映画流通論 ②	デジタル映像技術概論 ②	映画で学ぶ歴史と社会 3 ②	映画で学ぶ歴史と社会 4 ②
			社会学 ②*		映画と法 ②	映画で学ぶ歴史と社会 5 ②
						映画で学ぶ歴史と社会 6 ②
コミュニケーション		中国語 ②	英語 1 ②	韓国語 ②*	英語 2 ②	英語 3 ②
					こども映画教育 I ②	こども映画教育 II ② 【夏期集中】
						キャリア・サポート ② ※3年のみ
					インターンシップ ② 【通年】	
	国際合同制作 ④ 【通年】※隔年開講		国際合同制作 ④ 【通年】※隔年開講		国際合同制作 ④ 【通年】※隔年開講	

基礎科目

基礎科目は、1年次から2年次前期に配当されています。映画づくりに必要な基礎知識と技術を修得するための科目です。

系・コースに分かれるまでのながれ

1年次 前期	大学での学びへの導入「ベーシック・スキル」1・2（教養科目） 大学で学ぶために必要な心構えと基礎的な力を、複数の教員による講義とワークショップを通して身につけます。
	脚本の基礎を学ぶ「脚本基礎演習」 脚本の書き方の基本を修得します。
	創ることの基本を学びチームワークを磨く「人間総合研究」（教養科目） 本学の看板授業。仲間とともに作品をつくり上げていく力を実践的に身につけます。
▼	
1年次 後期	映画制作の基礎を学ぶ「映画制作基礎演習」 デジタルでの映画制作を学びます。映画作りの全工程を一通り体験し、系・コース選択への道筋をつけます。
	本格的な脚本の書き方を学ぶ「長編シナリオ演習Ⅰ」 劇場映画の長さのシナリオを書くための実践的な方法を修得します。
▼ ここで系またはコースを選択します。	
1年次 春休み	春休みに200枚のシナリオを各自で執筆します。
▼ 2年次からは系またはコースに分かれて学びます。	
2年次 前期	脚本を書くために不可欠な“直し”の技術を修得する「長編シナリオ演習Ⅱ」 自分の書いたシナリオを丁寧に直していくことで、よりよいものに仕上げっていきます。
▼	
2年次 後期	高度な学びのための準備「ベーシック・スキル」3（教養科目） 3・4年次の専門コースでの学びに必要な読解力と表現力を、複数の教員による講義とワークショップを通して身につけます。

履修のポイント

・基礎科目はすべて必修科目です。必ず修得しなければなりません。

丸数字：単位

	1年次		2年次
	前期	後期	前期
基礎科目	脚本基礎演習 ②	映画制作基礎演習 ⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ ②	長編シナリオ演習Ⅱ ②

専門基礎科目

専門基礎科目は、原則として2年次から3年次に配当されています（「演劇WS」は1年次、「上映企画WSⅡ」は4年次）。1年次に修得した基礎的な知識と、2年次から系・コースに進んで学ぶ専門的な知識をつなぎ、段階的にそれぞれの専門性を補完するための科目です。ワークショップ形式で行われる“WS”科目は、体験をととして知識や技術を修得できるようになっています。

履修のポイント

- ・専門基礎科目はすべて選択必修科目です。2科目、合計4単位以上を修得しなければなりません。4単位以上は選択科目として扱われます。
- ・4単位を超えた専門基礎科目（β）と、10単位を超えた教養科目（α）をあわせて38単位以上になるように履修してください。
- ・指定されている配当年次以外での履修はできません。
- ・すべての系・コースの学生が履修できます。

丸数字：単位 茶色は「映画ソムリエ」科目

	2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期
専門基礎科目	ドキュメンタリーWS ② 映像リテラシーWS ②	演出論Ⅰ ② 録音WS ② 動画配信WS ② 映画美術WSⅠ ②【夏期集中】 映画美術WSⅡ ②【春期集中】	脚本創作論 ② 編集実践技術論 ② 特殊撮影・VFX WSⅠ ②	演出論Ⅱ ② 特殊撮影・VFX WSⅡ ② 上映企画WSⅠ ②
	演劇WS ②【春期集中】 ※1年後期	映画プロデュースWS ②		上映企画WSⅡ ② ※4年前期

専門科目

専門科目は、2年次から4年次に配当されています。系・コースに分かれて専門性を深めていくための科目です。4年次には、身につけた知識と技術を総動員して、学修の集大成としての卒業制作に取り組みます。

履修のポイント

・専門科目はすべて選択必修科目です。系・コースごとに履修しなければならない科目が決められています。他の系やコースの科目の履修はできません。

丸数字：単位

		2年次			3年次		4年次	
		前期	後期		前期	後期	前期・後期	
演出系		演出基礎演習Ⅰ⑧ (ドキュメンタリー)	演出基礎演習Ⅱ⑧ (ワンシーン)	コース 選 択	ドキュメンタリーコース	ドキュメンタリー専門演習Ⅰ⑧	ドキュメンタリー専門演習Ⅱ⑧	卒業制作⑫ (ドキュメンタリー)
	身体表現・俳優コース				身体表現専門演習⑧		卒業制作⑫ (公演)	
	演出コース				演出専門演習⑧ (3分エチュード)			
技術系	撮影照明コース	撮影照明基礎演習⑧	撮影照明専門演習⑧	▶	撮影照明コース		合同制作⑧	卒業制作⑫ (ドラマ)
	録音コース	録音基礎演習⑧	録音専門演習⑧	▶	録音コース	技術合同演習⑧		
	編集コース	編集基礎演習⑧	編集専門演習⑧	▶	編集コース			
文章系	雑誌制作⑧		インプロビゼーション演習⑧	コース 選 択	脚本コース	脚本専門演習Ⅰ⑧ (短編映画制作)	脚本専門演習Ⅱ⑧ (脚色)	卒業制作⑫ (シナリオ)
					文芸コース	文芸専門演習Ⅰ⑧ (読解・ライティングWS)	文芸専門演習Ⅱ⑧ (批評)	卒業制作⑫ (文芸)

履修証明プログラム

履修証明プログラムとは、本学の学士課程（卒業要件を満たすと学士（映画学）が授与されます）とは別に、特別に設けられた課程です。体系的な知識・技術等の習得のために、一定の教育計画の下に編成された教育プログラムです。目的・内容に応じて総時間数120時間以上で設定されています。プログラムの修了者には履修証明書が交付されます。本学には、「映画ソムリエ」プログラムがあります。

〈映画ソムリエ〉 お酒の世界にソムリエがいるように、映画の"目利き"を目指す！

日本唯一の映画単科大学でなければ用意できない格別なプログラムです。映画の持つ力。それは人々の日々の暮らしに活力と希望を与え、実生活では稀にしか訪れない「人生の真実に触れる喜び」を提供します。「映画ソムリエ」プログラムは、この映画の力を見極め、社会と個人からの多様な要望に応える能力を磨きます。4年間を通して、映画の過去と今日、そして未来まで多視点から俯瞰分析し、映画と社会、映画と人々を繋ぎ、映画によって人生を語る力を修得します。映画ソムリエは、映画によって人生を熟成させる者の呼称です。

1年次	映画についての基礎的な知識を修得し、映画史への理解を深める 「日本映画史Ⅰ」、「映画史概論」で映画の歴史を体系的に学びます。「映画史基礎」では、2年間かけて映画史上重要な50作品を鑑賞し、レポートを作成することで、学んだ映画史に肉付けをします。
2年次	修得した映画の知識を活用するための方法を身につける 「映画流通論」では、映画の企画から完成した作品を観客に届けるまでの流れ（企画・製作・配給・宣伝・興行・映画祭・批評）を学び、それぞれの仕事についての理解を深めます。「映画プロデュースWS」では、プロデューサーの仕事を理解した上で4週間のワークショップを行い、映画作りの根本である企画開発と企画書の作成を実践します。
3年次	これまで学んだことを応用して上映プログラムを立案する 「上映企画WSⅠ」では、これまで修得した知識を総動員して上映プログラムを立案し、自分たちが映画祭をつくります。また「映画と法」では、映画の製作から上映までの過程に関わる法的な知識を学びます。
4年次	実際に劇場で映画祭を行う 「上映企画WSⅡ」では、最終到達地点として自分たちが企画した映画祭を実践します。

履修のポイント

- ・「映画ソムリエ」プログラムの履修証明書を得るためには、以下のすべての科目を修得しなければなりません。
- ・「上映企画WSⅠ」は、*印の科目を修得していないと履修することができません。
- ・「上映企画WSⅡ」は、「上映企画WSⅠ」を修得していないと履修することができません。
- ・すべての科目が卒業必要単位（124単位）に含まれます。

	対応する科目名等	対応する科目区分	単位	授業形態	コマ数	配当年次・学期
必修	日本映画史Ⅰ*	教養科目	2	講義	15	1年 前・後期
	映画史概論	教養科目	2	講義	15	1年 前・後期
	映画史基礎*	教養科目	2	演習	15	1-2年 通年
	映画流通論*	教養科目	2	講義	15	2年 前期
	映画プロデュースWS*	専門基礎科目	2	演習	15	2年 後期
	映画と法	教養科目	2	講義	15	3年 前期
	上映企画WSⅠ	専門基礎科目	2	演習	15	3年 後期
	上映企画WSⅡ	専門基礎科目	2	実習	15	4年 前期
	単位計			16		120

演出コース

映画表現の本質を理解し、作品世界に対する多様な視点と観察力を身につけます。共同作業の中で映画演出の方法を体得し、コミュニケーション能力の向上を図ります。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「演出系」として合同で授業を行います。

2年次前期	人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ〈ドキュメンタリー〉」 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拡げ、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相對することの面白さを学びます。
2年次後期	シナリオの読解力、演出の基本要素である演技・カット割りの能力を身につける「演出基礎演習Ⅱ〈ワンシーン〉」 ワンシーンを演出することによって、映画の基本である「物語を映像で語る」とはということかを学びます。また、教員が監督する短編作品にスタッフ・キャストとして参加し、作品制作の流れと演出技術を体得し、映画制作における集団作業の重要性を学びます。
3年次前期	一人1本、3分間の作品を作る「演出専門演習〈3分エチュード〉」 全員が一本ずつ3分間の作品を企画、脚本執筆・監督します。また人の作品にスタッフ、キャストとして参加することで映画制作のノウハウとチームプレイの大切さを学び、映画演出の概念、物語の表現、人間の描き方、テーマの把握など、映画のリテラシーを実践的に修得します。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 脚本選びからキャスティング、ロケハンなどの制作準備を経て、身体表現・俳優、撮影照明、録音、編集コースと合同で、15分の短編映画を作ります。各コースに分かれて学んできた学生が集まり、各部の主張の中で一つの作品を作り上げることによって、卒業制作に向けたスキルの向上を図ります。
4年次	4年間の集大成「卒業制作〈ドラマ〉」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル1②			ベーシック・スキル3②					
			ベーシック・スキル2②								
			人間総合研究⑧								
計28単位		基礎	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	教養	専門			演出基礎演習Ⅰ⑧ (ドキュメンタリー)	演出基礎演習Ⅱ⑧ (ワンシーン)	演出専門演習⑧ (3分エチュード)	合同制作⑧	卒業制作(ドラマ)⑩【通年】		
		計48単位	専門基礎			ドキュメンタリーWS②	演出論1②				
選択	教養	専門基礎			映像リテラシーWS②	映画美術WSⅠ② 映画プロデュースWS②	脚本創作論② 編集実践技術論②	演出論2②			
		計48単位	映画史	日本映画史1②	映画史概論② 日本映画史2②	ドキュメンタリー映画史②					
			映画史基礎②(単位付与は2年後期)								
			映画文化		テーマ研究1②			テーマ研究3②	テーマ研究5②		
			文学・芸術	文芸映画論②			映画と演劇②			映画と音楽②	
			歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1②	映画で学ぶ歴史と社会2②	映画流通論②			映画で学ぶ歴史と社会4②		映画で学ぶ歴史と社会5②
	コミュニケーション					こども映画教育Ⅰ②	キャリア・サポート②				
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 18単位	計 20単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

身体表現・俳優コース

映画の作り方を学ばなかに、舞台の上やカメラの前に立って自然に動くための技術を身につけます。肉体訓練を通じて身体感覚を発見し、演技を通じて他者との関係を意識し、観客の前で表現することを目指します。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「演出系」として合同で授業を行います。

2年次前期	人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ〈ドキュメンタリー〉」 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拡げ、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相對することの面白さを学びます。
2年次後期	シナリオの読解力、演出の基本要素である演技・カット割りの能力を身につける「演出基礎演習Ⅱ〈ワンシーン〉」 ワンシーンを演出することによって、映画の基本である「物語を映像で語る」とはどうかを学びます。また、教員が監督する短編作品にスタッフ・キャストとして参加し、作品制作の流れと演出技術を体得し、映画制作における集団作業の重要性を学びます。
ここで、「演出」「身体表現・俳優」「ドキュメンタリー」のコース分けを行います。	
3年次前期	俳優としての基本態度、基本技術と訓練法、演劇の制作過程を学びながら、演劇作品を作る「身体表現専門演習」 俳優としての基本態度、精神と肉体の集中力と持久力を身につけます。台本を深く読むための方法を理解し、登場人物の身体のあり方を意識し、作品づくりの過程でチームに貢献することや連携することの重要性を学びます。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 脚本選びからキャスティング、ロケハンなどの制作準備を経て、演出、撮影照明、録音、編集コースと合同で、15分の短編映画を作ります。各コースに分かれて学んできた学生が集まり、各部の主張の中で一つの作品を作り上げることによって、卒業制作に向けたスキルの向上を図ります。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(公演)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、卒業公演に取り組みます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル 1 ②			ベーシック・スキル 3 ②				
		基礎	ベーシック・スキル 2 ② 人間総合研究⑧							
計28単位			脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②					
選択必修	教養	専門			演出基礎演習Ⅰ⑧ (ドキュメンタリー)	演出基礎演習Ⅱ⑧ (ワンシーン)	身体表現専門演習⑧	合同制作⑧	卒業制作(公演)⑫[通年]	
		専門基礎		演劇WS②		演出論 1 ②				
計48単位					ドキュメンタリーWS② 映像リテラシーWS②	映画美術WSⅠ②	脚本創作論②	演出論 2 ②		
選択	教養	専門基礎 3科目めからは選択科目に算入								
		映画史	日本映画史 1 ②	映画史概論② 日本映画史 2 ②	ドキュメンタリー-映画史②					
			映画史基礎② (単位付与は2年後期)							
		映画文化	表象文化論 1 ②				テーマ研究 3 ②	テーマ研究 4 ②	アニメーション・特撮文化論②	テーマ研究 5 ②
		文学・芸術		芸能概論②	ファッション文化史②	映画と演劇②	演劇史②	映像と美術②		
計48単位	教養	歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会 1 ②		映画流通論②		映画で学ぶ歴史と社会 3 ②			
		コミュニケーション					キャリア・サポート②			
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位

ドキュメンタリーコース

ノンフィクションもまたフィクションであることを理解し、映像と現実の不一致を確かめながら、メディアのあり方やジャーナリズムの役割について探究します。カメラを通して人間と向き合うとはどういうことか、映像によるコミュニケーションの多様性を学びます。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「演出系」として合同で授業を行います。

2年次前期	人間と映画の多様性についての理解を深める「演出基礎演習Ⅰ〈ドキュメンタリー〉」 短編ドキュメンタリーの制作を通して、映画制作フローの多様性を学びます。取材対象者との交流を深めながら自らの人間観を拡げ、現実を生きる人間を活写することの難しさと、人間に相對することの面白さを学びます。
2年次後期	シナリオの読解力、演出の基本要素である演技・カット割りの能力を身につける「演出基礎演習Ⅱ〈ワンシーン〉」 ワンシーンを演出することによって、映画の基本である「物語を映像で語る」とはということかを学びます。また、教員が監督する短編作品にスタッフ・キャストとして参加し、作品制作の流れと演出技術を体得し、映画制作における集団作業の重要性を学びます。
3年次前期	複数のワークショップをとおして実践的な技術を身につける「ドキュメンタリー専門演習Ⅰ」 「街を撮る」、「部屋を撮る」、「暮らしを撮る」という3つのワークショップで言葉に頼らない映像表現について考えます。次いで「インタビューを撮る」ことによって主人公の感情を表現するインタビューの撮影法を学びます。最後に、学んだすべての表現手法を用いて「学生の一日を撮る」ことで、各自の映画言語を獲得します。
3年次後期	卒業制作に向けて企画立案を行うとともに、短編ドキュメンタリーを作る「ドキュメンタリー専門演習Ⅱ」 短編映画の制作を通じて、他者性を意識すると同時に自らの視点を獲得し、その視点を映像化することを学びます。また、ドキュメンタリー撮影のワークフローを修得します。卒業制作に向けて各自の企画を立案し、作品の可能性を検証しながらそれを練り上げます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(ドキュメンタリー)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養 基幹	ベーシック・スキル1②			ベーシック・スキル3②					
		ベーシック・スキル2②								
計28単位	基礎	人間総合研究⑧								
		脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②						
選択必修	専門			演出基礎演習Ⅰ⑧ (ドキュメンタリー)	演出基礎演習Ⅱ⑧ (ワンシーン)	ドキュメンタリー 専門演習Ⅰ⑧	ドキュメンタリー 専門演習Ⅱ⑧	卒業制作(ドキュメンタリー)⑩【通年】		
		計48単位	専門基礎		ドキュメンタリー-WS②	映画プロデューWS②				
選択	教養	専門基礎 3科目めからは選 択科目に算入		映像リテラシー-WS②	動画配信WS②	編集実践技術論②	特殊撮影・VFX WS1②			
		映画史	日本映画史1②	映画史概論②	ドキュメンタリー-映画史②					
			映画史基礎② (単位付与は2年後期)							
		映画文化	表象文化論1②	テーマ研究1②		テーマ研究2②		日本文化論②		
		文学・芸術		芸能概論②	写真論②			映画と哲学②		
		歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1②	映画で学ぶ歴史と社会2②	映画流通論②		映画と法②	映画で学ぶ歴史と社会4②		映画で学ぶ歴史と社会6②
コミュニケーション					こども映画教育Ⅰ②	こども映画教育Ⅱ② キャリア・サポート②				
合計124単位		計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

撮影照明コース

映像の歴史と技術を知り、ドラマを映像というかたちで具現化する方法を探求します。脚本の理解、的確な照明やフレーミング、カメラワークなどの映像表現技術を身につけます。

コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	撮影・照明の基礎知識を身につける「撮影照明基礎演習」 撮影・照明についての基礎（露出・照明比・色温度・フレーム感覚・文字情報を映像に変換する技術など）を学びます。各種機材の特性と扱いを実践的に修得します。また、技術系コースとの合同演習を通して技術パートの連携を理解します。
2年次後期	デジタルシネマ技術の特性を理解する「撮影照明専門演習」 デジタルシネマの基礎と撮影照明の役割を理解し、短編映画制作を通して修得した技術を作品に反映する方法を学びます。また演出と撮影の関わりを深く理解し、撮影現場の運営がスムーズにできるよう、技術レベルのスキルアップを図ります。
3年次前期	撮影と照明についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」 録音、編集コースとともに、プロの監督の下で短編映画を制作します。ライティングと的確なフレーム作りを修得し、撮影・照明についての理解を深めます。また、シナリオのテーマを理解し、作品のクオリティーの向上にどうコミットするべきかを実践的に考えます。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 演出、身体表現・俳優、録音、編集コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。また、CM制作などを行い、卒業制作に向けて撮影照明の技術を高めめます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル1 ②			ベーシック・スキル3 ②				
		基礎	ベーシック・スキル2 ② 人間総合研究⑧							
選択必修	教養	専門			撮影照明基礎演習⑧	撮影照明専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑧	卒業制作(ドラマ)⑫〔通年〕	
		専門基礎			映像リテラシーWS②	動画配信WS②				
選択	教養	専門基礎			ドキュメンタリーWS②	映画美術WS I ②	編集実践技術論②	特殊撮影・VFX WS 2 ②		
		映画史		映画史概論②	日本映画史1 ②	ドキュメンタリー映画史②				
					日本映画史2 ②					
			映画史基礎② (単位付与は2年後期)							
		映画文化	映画分析論②	テーマ研究1 ②				テーマ研究4 ②		テーマ研究5 ②
		文学・芸術			写真論②		映画と音楽②			
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1 ②	映画で学ぶ歴史と社会2 ②	映画流通論②	デジタル映像技術概論②			映画と法②			
					こども映画教育 I ②	こども映画教育 II ②				
	コミュニケーション					キャリア・サポート②				
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位

録音コース

映画を聴覚の側面から捉えなおし、音による表現の技術と方法を探求します。撮影現場での録音からスタジオでの整音、加工、最終ミックスまで、映画の音をつくるすべてのプロセスを実践的に学びます。

コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	映画における音の役割を理解する「録音基礎演習」 現場からポストプロダクションまで関わる録音技術者の仕事の流れを理解します。音の物理基礎、電気の基礎、デジタルの基礎など必要な知識を学び、映画録音に最低限必要な機材の使い方を身につけます。また、技術系コースとの合同演習を通して技術パートの連携を理解します。
2年次後期	高度な技術の修得を目指す「録音専門演習」 スタジオワークを学び、仕上げ作業の流れを理解するとともに、効果音やフォーリーへの造詣を深めます。プレイバック撮影、サラウンドなど、より高度な技術課題について学びます。また、音声のみでの作品（音声ドラマ）を制作することにより、音声表現の制約と可能性を学びます。
3年次前期	録音についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」 撮影照明、編集コースとともに、プロの監督の下で短編映画を制作します。現場ではレコーディング、マイクオペレート、マイクアレンジについて学びます。また、映画音楽について理解を深め、5.1サラウンドでの映画の音作りを学びます。デジタル録音の概念と、セリフ・効果音・音楽の担当者が協同して作品を完成させる事を実践的に理解します。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 演出、身体表現・俳優、撮影照明、編集コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。ワイヤレスマイクを使用したマルチトラック録音と仕上げでの処理方法を学び、卒業制作に向けて録音の技術を高めます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル 1 ②			ベーシック・スキル 3 ②				
			ベーシック・スキル 2 ②							
計28単位	基礎		脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧	長編シナリオ演習Ⅱ②					
				長編シナリオ演習Ⅰ②						
選択必修	専門			録音基礎演習⑧	録音専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑧	卒業制作(ドラマ)⑩【通年】		
		計48単位	専門基礎		映像リテラシーWS②	録音WS②				
選択	教養	専門基礎			ドキュメンタリーWS②	映画美術WSⅠ②	編集実践技術論②			
		3科目めからは選択科目に算入					特殊撮影・VFX WSⅠ②			
		映画史	映画史概論②	日本映画史Ⅰ②	ドキュメンタリー映画史②					
				日本映画史Ⅱ②						
		映画史基礎② (単位付与は2年後期)								
		映画文化	表象文化論②	サブ・カルチャー論②	映画解釈論②			テーマ研究Ⅳ②		
		文学・芸術	文芸映画論②		写真論②			映画と音楽②		
歴史・社会科学		映画で学ぶ歴史と社会Ⅱ②		デジタル映像技術概論②		映画で学ぶ歴史と社会Ⅳ②	映画と法②	映画で学ぶ歴史と社会Ⅴ②		
コミュニケーション						子ども映画教育Ⅰ②	子ども映画教育Ⅱ②			
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位

編集コース

映像をモンタージュ（編集）することによって新たな意味を生み出し、ドラマを語る方法を探究します。撮影された素材を新たに組み立てなおし、より深いドラマの解釈を提示するための技術を学びます。

コースに進んでからの学びのながれ

2年次前期	映画における編集の重要性を理解する「編集基礎演習」 編集の発生や成り立ちについて学び、道具や機材の取り扱い方などの基礎知識を修得します。実験的にモンタージュすることで映画における編集の重要性を認識します。また、技術系コースとの合同演習を通して技術パートの連携を理解します。
2年次後期	高度な技術の修得を目指す「編集専門演習」 映像制作ソフトの使い方を実践的に修得します。30分程度のドラマ素材を用いた編集、短編映画の編集を通して、限られた素材の中から選び出す能力と構成力を高めます。
3年次前期	編集についての理解を深め、実践的なスキルを身につける「技術合同演習」 撮影照明、録音コースとともに、プロの監督の下で短編映画を制作します。編集と、演出、撮影・照明や録音との関係について理解を深めるとともに、チームワークの必要性を理解しコミュニケーション能力の向上を図ります。
3年次後期	15分の短編映画を作る「合同制作」 演出、身体表現・俳優、撮影照明、録音コースと合同で15分の短編映画制作を行います。多くのスタッフ、パートと協力して作品を作ることで、コミュニケーション能力と多角的視点を身につけます。また、予告編の制作などを通して、卒業制作に向けて編集の技術を高めます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(ドラマ)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、一般公開できるレベルの作品を制作します。出来上がった作品の上映まで自分たちの手で行うことで、映画をどのように観客に届けるのか、「見せる」ためのプロセスも体験的に学びます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル1②			ベーシック・スキル3②					
		基礎	ベーシック・スキル2② 人間総合研究⑧								
計28単位			脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習I②	長編シナリオ演習II②						
選択必修	教養	専門			編集基礎演習⑧	編集専門演習⑧	技術合同演習⑧	合同制作⑧	卒業制作(ドラマ)⑫[通年]		
		専門基礎			映像リテラシーWS②		編集実践技術論②				
選択	教養	専門基礎			ドキュメンタリーWS②	動画配信WS②	特殊撮影・VFX WS1②	特殊撮影・VFX WS2②			
		映画史	映画史概論②	日本映画史1②	ドキュメンタリー-映画史②						
				日本映画史2②							
		映画史基礎② (単位付与は2年後期)									
		映画文化	映画分析論②	テーマ研究1②	映画解釈論②	表象文化論2②	フィルム・アーカイヴ②	テーマ研究4②			
		文学・芸術			美術史1②		映画と音楽②			映像と美術②	
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1②	映画で学ぶ歴史と社会2②		デジタル映像技術概論②		映画で学ぶ歴史と社会5②	映画と法②				
コミュニケーション						キャリア・サポート②					
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

脚本コース

映画作りの要となる「脚本」を軸に、ことばと身体演技の関係とシナリオ作法、ドラマの本質と演出の技術についての理解を深め、多様な映画表現の可能性を探究します。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「文章系」として合同で授業を行います。

2年次前期	活字出版の基本を身につける「雑誌制作」 雑誌の制作を体験することで出版の基本的なルールを実践的に学びます。また、文章を活字として世に問うことへの責任を理解します。企画、編集、原稿執筆から校正まで、紙媒体が出版されるまでの一連の制作フローを学びます。
2年次後期	創作のための発想力と思考力をきたえる「インプロビゼーション演習」 発想力を磨き、創作するための技術を体験的に身につけます。様々な事物に対して思考的アプローチを重ね、題材・テーマ・設定・人物造形などの物語へと繋がるヒントを見つけ出します。また、演じることで生じるセリフや人物の動きを俳優と一緒に検証し、シナリオ表現においてカメラのフレームや構図、カット割りや編集点などがどう関係するかについて理解を深めます。
▼ ここで、「脚本」・「文芸」のコース分けを行います。	
3年次前期	30分の短編映画を作る「脚本専門演習Ⅰ〈短編映画制作〉」 脚本コースだけで全パートを担当し30分の短編映画を作ることを通して、映画はあらゆることを具体的に置き換えていかなければならないものであることを学びます。字で伝わることと画で伝えられることの差異を知り、脚本に必要なものは何かを複合的に考えます。
3年次後期	原作小説を脚色して長編シナリオを書く「脚本専門演習Ⅱ〈脚色〉」 原作を元に長編シナリオを執筆します。小説とシナリオの違いを知り、映画表現とは何かを学びます。専門的な技術を修得すると同時に長編を書く持続力を身につけます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(シナリオ)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、劇場用映画（250枚）のシナリオを執筆します。また、TVドラマのシナリオ（120枚）執筆にも取り組み、外部のコンクールに挑みます。完成したシナリオは「卒業シナリオ集」にまとめます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル1②			ベーシック・スキル3②					
		基礎	ベーシック・スキル2② 人間総合研究⑧	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ②	長編シナリオ演習Ⅱ②					
選択必修	専門	専門基礎			雑誌制作⑧	インプロビゼーション演習⑧	脚本専門演習Ⅰ⑧ 〈短編映画制作〉	脚本専門演習Ⅱ⑧ 〈脚色〉	卒業制作(シナリオ)⑩【通年】		
		専門基礎				演出論1②	脚本創作論②				
選択	教養	専門基礎 3科目めからは選択科目に算入			ドキュメンタリーWS② 映像リテラシーWS②	映画プロデュースWS②	編集実践技術論②				
		映画史	映画史概論②	日本映画史1②	ドキュメンタリー-映画史②						
				日本映画史2②							
		映画史基礎②（単位付与は2年後期）									
		映画文化		サブ・カルチャー論②					テーマ研究4②		日本文化論②
		文学・芸術	文芸映画論②	映画と文学②	ファッション文化史②	文学②	映画と哲学②		英米文学②		
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1②			映画流通論②		映画で学ぶ歴史と社会3②	映画で学ぶ歴史と社会4②				
						映画で学ぶ歴史と社会5②					
	コミュニケーション						キャリア・サポート②				
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位	

文芸コース

評論や小説を書くために必要な知識と技術を身につけます。言語世界を構築していくとはどういうことかを理解し、言葉として成立させるための技術、文章を書く力と持続力を徹底的に鍛えます。

系・コースに進んでからの学びのながれ

「文章系」として合同で授業を行います。

2年次前期	活字出版の基本を身につける「雑誌制作」 雑誌の制作を体験することで出版の基本的なルールを実践的に学びます。また、文章を活字として世に問うことの責任を理解します。企画、編集、原稿執筆から校正まで、紙媒体が出版されるまでの一連の制作フローを学びます。
2年次後期	創作のための発想力と思考力をきたえる「インプロビゼーション演習」 発想力を磨き、創作するための技術を体験的に身につけます。様々な事物に対して思考的アプローチを重ね、題材・テーマ・設定・人物造形などの物語へと繋がるヒントを見つけ出します。また、演じることで生じるセリフや人物の動きを俳優と一緒に検証し、シナリオ表現においてカメラのフレームや構図、カット割りや編集点などがどう関係するかについて理解を深めます。
▼ ここで、「脚本」・「文芸」のコース分けを行います。	
3年次前期	自らの考えを適切に文章で表現するための技術を学ぶ「文芸専門演習Ⅰ〈読解・ライティングWS〉」 日本文学の古典を読解し、体感的に理解しながら書くことを通じて文学的なセンスと感覚を身につけ、表現力、思考力、構成力、着想の技術をきたえます。
3年次後期	様々なジャンルの批評を読む力・書く力を身につける「文芸専門演習Ⅱ〈批評〉」 主に文芸批評の著名な作品を取りあげ、それらが対象についていかに思考し、その思考を作品化しているかを学びます。問題意識と批評の方法を発見し、展開するために批評文の執筆、発表、議論を行い、読む力・書く力を高めます。
4年次	4年間の集大成「卒業制作(文芸)」 これまで修得したあらゆる知識と技術を総動員して、小説または評論の執筆に取り組みます。完成した作品は「卒業文集」にまとめます。

履修モデル

卒業必要単位数でモデル化したものです。実際は選択科目を増やしてこれ以上の単位を履修してください。

科目名後の丸数字は単位数

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
必修	教養	基幹	ベーシック・スキル1 ②			ベーシック・スキル3 ②				
		基礎	ベーシック・スキル2 ② 人間総合研究⑧	脚本基礎演習②	映画制作基礎演習⑧ 長編シナリオ演習Ⅰ ②	長編シナリオ演習Ⅱ ②				
選択必修	教養	専門			雑誌制作⑧	インプロビゼーション演習⑧	文芸専門演習Ⅰ ⑧ (読解・ライティングWS)	文芸専門演習Ⅱ ⑧ (批評)	卒業制作(文芸)⑩ [通年]	
		専門基礎			ドキュメンタリーWS②		脚本創作論②			
選択	教養	専門基礎	3科目めからは選択科目に算入		映像リテラシーWS②	動画配信WS② 映画プロデュースWS②				
		映画史	映画史概論②	日本映画史1 ② 日本映画史2 ②	ドキュメンタリー映画史②					
		映画史基礎② (単位付与は2年後期)								
		映画文化		サブ・カルチャー論②			テーマ研究3 ②	テーマ研究4 ②		
		文学・芸術	文芸映画論②	映画と文学②		文学②	映画と哲学② 演劇史②			英米文学②
歴史・社会科学	映画で学ぶ歴史と社会1 ②			映画流通論② 社会学②			映画で学ぶ歴史と社会4 ② 映画で学ぶ歴史と社会5 ②			
	コミュニケーション						キャリア・サポート②			
合計124単位			計 20単位	計 18単位	計 20単位	計 18単位	計 16単位	計 16単位	計 2単位	計 14単位